

日水協“抄録委員会”について教えてください！

札幌市水道局 外崎 友望
(令和6年度抄録委員会委員)



【抄録】（しょう - ろく）

〔名〕（スル）原文から必要な部分だけを書き抜くこと。抜き書き。

出典：デジタル大辞泉（小学館）

抄録委員会は昭和29年に設置された、日本水道協会に属する委員会の中でも非常に歴史のある委員会であり、「水道協会雑誌に掲載する抄録や記事に関する事項を審議する」ことを目的に活動。

水道界の抱える課題からテーマを定め、水道に関する国内外の文献や報告書を「情報の束」として抄録し、読者の皆様に学術的知見を分かりやすくお届けしている「**テーマ別抄録**」のほか、様々な視点で水道に興味を持っていただく水道雑学「**オムニバス記事**」の作成も行っています。



抄録委員会事務局

前野 冬芽

(日本水道協会 調査部資料課編集係)

本委員会は、産官学の若手委員で構成され、委員会内での熱いディスカッションをとoshi顔の見える関係を構築しており、委員同士、どの代も非常に仲が良いのが特徴です。これからも抄録委員会が作成する時宜を得た記事にこうご期待ください！



抄録委員会の様子

抄録委員会委員構成（現委員名簿は P.85参照）

委員長 春日 郁朗（東京大学先端科学技術研究センター准教授）

副委員長 酒井 宏治（東京都立大学都市環境学部准教授）

// 長谷川 進（東京都水道局給水部配水施設工事連絡調整担当課長）

委員 国土技術政策総合研究所、国立医薬品食品衛生研究所、水道事業体から17名、水道産業界から4名参加



過去に掲載したオムニバス記事はこちら



抄録してほしい文献や扱ってほしいトピックについて
ご意見ください😊